



山形メタルの意匠性の高いパネル。くつきりとした結晶模様と色調を薄板で実現

## スパングル金属パネル

# 山形メタル、薄型・軽量化

東日本

### 建築現場 作業負荷軽減

【山形】山形メタル（山形県新庄市、庄司正人社長）は薄くて軽い建築用スパングル金属パネルを発売した。亜鉛メッキ鋼板をリン酸亜鉛処理することなどで厚さ0.5ミリ、1.0ミリの薄板に意匠性の高い亜鉛結晶の花柄模様を施した。薄くなった分、従来品の半分から3分の1程度に軽量化。結果、パネル価格も同等品より安くなり、建築現場での作業負荷軽減にも貢献するとしている。

板厚は0.8ミリを標準に0.5ミリと1.0ミリの3タイプを用意。色調はグラファイト系、ブルー系、ブルズ系の3仕様で応じる。板厚が薄くなるほど結晶模様が小さくなる。パネルサイズは最大45センチ×90センチで、箱型、L型、R型の各形状に対応する。

スパングルはメッキプロセス中に亜鉛結晶が冷却固化して鋼板表面に浮き出る花柄状の模様。建築現場で意匠性の高いパネルとして利用されている。山形メタルによると「これまで板厚が数センチないとメッキ処理中に歪形してしまうため、大きくて重いパネルし

かなかった」（今田弘昭取締役）という。そこで鉄鋼メーカーから専用の亜鉛メッキ鋼板を調達し、自社でリン酸亜鉛処理と仕上げコーティングを施すことにより、薄板でも鮮やかな模様でくつきりとした色調を出すことに成功した。抗菌・抗ウイルス仕

様にも対応した。まずに提案する。ユーザは店舗や商業ビル、ホテル、劇場など意匠性が求められる内装用途が求められる内装用途を広がっていく。